

昨年12月にオープンした「浦戸ステイ・ステーション」。この施設を活用し、島の漁業や農業への就業を希望する「地域おこし協力隊」の募集を始めました。

第1弾は、桂島の「ノリ養殖漁業」の担い手を募集。1月12日から15日に開催した「島暮らし・島の仕事体験ツアー」には4人が参加し、地元の漁師の方から、ノリ養殖漁場でのノリ摘み体験や、施設での加工体験などの研修を受けました。

この体験ツアーを経て、引き続き就業を希望する方は、「地域おこし協力隊」として最長3年間の本格的な漁業研修に従事し、島に定住してノリ養殖漁業での自立を目指します。

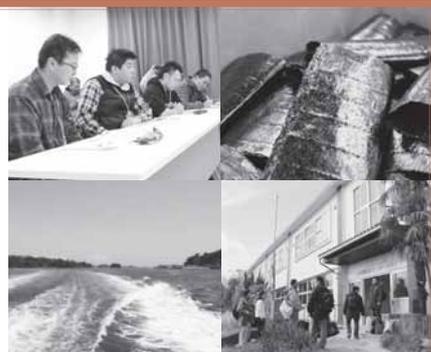


宮城県漁業協同組合塩釜市浦戸支所  
運営委員長 内海勇一 さん

浦戸の漁業は、高齢化と後継者不足が問題となっています。桂島と石浜でノリ漁を行っているのは8経営体で、震災前と比べると約半数です。

ノリ漁は海に畑を作るようなものなので、頑張れば頑張るだけ成果が出るのが良いところです。また、桂島のノリは“知る人ぞ知る”おいしいノリです。このようなノリを未来につなげていくためにも、「地域おこし協力隊」はとてもありがたいものです。今回ツアーに参加した方にはぜひ仲間になってもらい、ノリ漁と一緒に取り組んでいきたいと思っています。

問 政策課企画係 ☎355-5631



浦戸諸島の  
漁業・農業の  
担い手育成を  
進めています!



## 景観コラム 『景観十年、風景百年、風土千年』

### 銀河鉄道が走る「塩竈の都市景観」～仙石線の高架化～

南町付近の仙石線高架橋が不思議な形をしていることをご存じですか。

宮城電気鉄道は、大正14年に仙台～西塩釜間が開通(昭和3年石巻まで全線開通、今の仙石線)し、明治20年開通の塩釜線(上野～塩釜)とともに、本市の発展に大きく貢献しました。

しかし、この二つの鉄道の線路により中心市街地が東西に分断され、さらに自動車の増加により激しい交通渋滞が発生しました。

そこで昭和40年に仙石線の高架複線化が構想され、昭和50年から海寄りに大きくルートを変

更して西塩釜～東塩釜間で高架複線化工事が始まり、昭和56年11月1日に開通した仙石線からは、塩釜港や浦戸の島々を望むことができるようになりました。

なお、南町の高架橋の不思議な形は、将来的に塩釜線も高架で仙石線に乗り入れ、港や魚市場に入線できるようにあらかじめ用意された接続用の橋台です。当線は貨物の減少から平成6年にその役目を終え、計画は幻となりました。

夜、マリンゲート塩釜から港を眺めると、仙石線がまるで銀河鉄道のように走り、ロマンあふれる塩竈の都市景観に出会うことができるでしょう。

【参考文献：塩竈の歴史】



左)昭和52年ごろの南町付近  
右)塩釜線が高架で仙石線に乗り入れできるように準備された橋台(南町付近)

問 都市計画課まちづくり推進係  
☎364-2510

防災行政無線で放送された内容を再確認したいときは、自動音声で放送内容を聞くことができます。

防災行政無線確認電話 ☎364-1260



エフエムベイエリア (FM78.1Mhz) でも防災行政無線の内容や防災情報を放送していますので、災害時にはラジオを活用ください。

【塩竈市の人口】 H27.12.31現在

住民基本台帳調べ (前月比)	
人口	55,507人 (-54人)
男	26,511人 (-16人)
女	28,996人 (-38人)
世帯数	22,999戸 (-19戸)